※令和４年度以降入学生用

学校番号	311

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	造形演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■造形における基礎・基本を確実に身につけ、様々な素材・技法に触れることで、自ら創造する力を身に付けます。
■毎回出席することが大切です。じっくり時間をかけてより良い作品を作ってください。また、作品は必ず完成させてください。
■一人ひとり、思いや見方・感じ方は違います。表現形式の特性や形体・色彩などに着目し、自分の感じ方や見方、表現を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

・造形における基礎・基本を確実に身につけ、造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。
・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、新たな視点や気づきをもって創造的に発想・構想することができる。また価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるとともに、他者の作品を認め相互理解を図ることで、自己の作品を通じて客観的視点を養うことができる。
・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、様々な素材・技法にふれることで、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めて表現が行われているか、また、創造的な美術の表現をするために必要な技術を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫しているかを評価します。	造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し、発想や構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしているかを評価します。	美術の創造活動の喜びを味わいながら、美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現および鑑賞の創造活動に取り組んでいるかを評価します。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	鉛筆による基礎デッサン	【絵画・彫刻】 ■基礎的描写力の育成 ・鉛筆の削り方 ・基本的な立体の描写 ・モチーフデッサン	a:（知識・技能）鉛筆の特性を生かし、形体の特徴をつかみ、写実的に描写しようとしている。 b:（発想や構想）造形的な見方を働かせながら、対象の色や形の面白さ、質感などに内在する美しさを感じ取り創造的に表現できている。 c:(鑑賞)他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができている。 c: 主体的に作品としっかり向き合い、自身の表現したいことに結び付けられている。鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組もうとしている。	作品	作品 制作記録	制作記録 授業観察 振り返りシート
	模刻	【絵画】【彫刻】 ■本物の野菜や果物を粘土等で写実的に表現する。 ・対象となるモチーフをじっくり観察してデッサンする。造形的な特徴を捉え理解する。 ・立体で制作する際にモチーフに内在する質量や質感をしっかりと感じ取りながら粘土等で表現する。 ・アクリル絵具等で着彩する際にモチーフが持つ複雑な色をよく観察しながら塗る。 ・鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートを元に鑑賞し、作者の表現の工夫を共有する。	a:（知識・技能） 意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 b:（発想や構想）素材の特性を生かし、形体や色彩、構成等について考え、創造的な表現の構想を練ることができている。 c:（表現に関して）野菜や果物等のモチーフを再現する事に関心を持ち、主体的に創造活動に取り組もうとしている。 c:(鑑賞)他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができている。 c:主体的に作品としっかり向き合い、自身の表現したいことに結び付けられている。鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組もうとしている。	作品	スケッチ 作品 制作記録	ワークシート 授業観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

1学期	名画の鑑賞	【鑑賞】 ■各班ごとで既存の作品を渡し、その作品からどのような物語を読み解くことができるか話し合う。文章を書き発表して、色んな解釈があることを認識する。 ・教科書から作品を一つ選択し、じっくりと観察してレポートにまとめる。	a:（知識）対象とする画家の表現方法の特徴や性質を感じ取り、作品のイメージをとらえようとしている。 b:（鑑賞）造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めている。 c:（鑑賞に関して）主体的に鑑賞活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 授業観察
2学期	モダンテクニックコラージュ	【絵画】【デザイン】 ■モダンテクニックの効果を理解し、自らが意図するオリジナルペーパーの作成に取り組む。作成したペーパーを用いてコラージュ作品を制作する。 ・鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートを元に鑑賞し、作者の表現の工夫を共有する。	a:（知識・技能）モダンテクニックとコラージュの特性を理解し、表現方法を創意工夫している。 b:（発想や構想）モダンテクニックによって生まれた偶発的な美しさを発見し、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。 c:（表現に関して）モダンテクニックとコラージュに興味を持ち、主体的に創造活動に取り組もうとしている。 c:（鑑賞）他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができている。 c:主体的に作品としっかり向き合い、自身の表現したいことに結び付けられている。鑑賞や振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組もうとしている。	作品	作品 制作記録	ワークシート 授業観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	張り子技法による立体制作	【絵画･彫刻】 ■対象物を張り子技法を用いて制作する。 ･対象となるモチーフをじっくり観察してスケッチする。造形的な特徴を捉え理解する。 ･張り子技法や和紙の特性を理解し、丁寧に制作に取り組む。 ･アクリル絵具で着彩する際はモチーフが持つ自然の独特な色をよく観察しながら塗る。 ･鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートを元に鑑賞し、作者の表現の工夫を共有する。	a:（知識・技能） 意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 b:（発想や構想）張り子の特性を生かし、形体や色彩、構成等について考え、創造的な表現の構想を練る事ができている。 c:（表現に関して）石を張り子技法で再現することに関心を持ち、主体的に創造活動に取り組もうとしている。 c:（鑑賞）他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができている。	作品	スケッチ 作品 制作記録	スケッチ 制作記録 授業観察 振り返りシート
	灯りデザイン	【デザイン】 ■和紙や金属を用いてランプシェードを制作する。 ･スケッチ 参考になる作品を見ながらどんな空間で使用するかを考慮しながらアイデアスケッチする。 ･自分の考えたデザインに適した素材の選択をし、特性を生かした制作をする。 ･鑑賞 完成した作品を実際に使用し、振り返りシートを元に鑑賞し、作者の表現の工夫を共有する。	a:（知識・技能）意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫している。 b:（発想や構想）ランプシェードの特性を生かし、形体や色彩、光などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 c:（表現に関して）灯りのある空間を表現することに関心を持ち、主体的に創造活動に取り組もうとしている。 c:（鑑賞）他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができている。	作品	スケッチ 作品 制作記録	制作記録 授業観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	コマ撮りアニメーション	【映像メディア表現】 【鑑賞】 ■日常のなにげない出来事をコマ撮りアニメで制作する。 ・参考作品を鑑賞し、ストーリーや登場人物のアイデアをスケッチする。 ・撮影する際は、３～4 人のグループでそれぞれ役割分担をし、協力しながら制作する。 ・鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートを元に鑑賞し、作者の表現の工夫を共有する。	a:（知識・技能）主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 b:（発想や構想）映像表現の視覚的要素などの効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 b:（鑑賞）造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 c:（表現に関して）映像表現の視覚的要素などの効果的な生かし方について考えながら、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品	スケッチ 作品 制作記録	制作記録 ふりかえりシート 授業観察
3学期	鋳造による表現	【絵画・彫刻】【デザイン】 ■錫合金を用いて名前やマークをデザインしたモチーフを制作する。 ・スケッチ 参考になる作品を見ながらアイデアスケッチする。 ・素材の特性を生かした制作をする。 ・鑑賞 完成した作品を実際に使用し、振り返りシートを元に鑑賞し、作者の表現の工夫を共有する。	a:（知識・技能）意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫している。 b:（発想や構想）鋳造可能かつマークとしての機能を理解し、錫という金属の特性を生かし、形体や技法等について考え、創造的な表現の構想を練っている。 c:（表現に関して）鋳造によるマークを表現することに関心を持ち、主体的に創造活動に取り組もうとしている。 c:（鑑賞）他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めることができている。	作品	スケッチ 作品 制作記録	制作記録 授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度